

2020年10月29日

環境宣言「GREEN CHALLENGE 2050」循環経済社会の達成に向け 『PET ボトルリサイクル工場』合弁会社設立に合意

株式会社セブン&アイ・ホールディングス（本社：東京都千代田区、社長：井阪 隆一、以下「セブン&アイ」）は、ヴェオリア・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、社長：ヤニック・ラット、以下「ヴェオリア」）、三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、社長：安永竜夫、以下「三井物産」）と、西日本に新設する PET ボトルリサイクル工場（リサイクル PET 樹脂製造能力：年間約 2.5 万ト）の合弁事業に係る株主間契約を締結いたしました。

本年度中に 3 社での最終投資意思決定の後、合弁会社を設立して 2022 年の工場稼働を目指してまいります。

セブン&アイは、2019 年 5 月にグループの環境宣言「GREEN CHALLENGE 2050」を発表いたしました。目指す姿の一つ「循環経済社会(サーキュラー・エコノミー)」の達成に向けたプラスチック対策に取り組む中、新設の PET ボトルリサイクル工場に対し、店舗における廃 PET ボトルを供給することができるとともに、セブンプレミアム等のオリジナル商品の容器でリサイクル PET 素材を使用することができます。

ヴェオリアは PET ボトルリサイクル事業を中核事業の一つとする世界的な環境サービス企業大手で、世界 10 拠点で PET ボトルのリサイクル工場を運営しています。今後、廃プラスチック輸出入規制の強化等で日本国内で滞留が予想され適切な処理・使用が社会的にも要請される低グレードの廃 PET ボトルを扱うことが可能な高い技術力を保有しています。

三井物産は幅広い事業資産やグローバルなネットワークを活用し、本事業を皮切りに国内外で廃プラスチック問題などの解決を通じた同様の案件を検討・推進していくことで、サーキュラー・エコノミーの確立に貢献していきます。

3 社は本取り組みを通じ、今後さらなる環境負荷低減を推進し、豊かな地球環境を未来世代に繋いでいくため、循環経済社会を目指してまいります。



【廃 PET ボトル】



【リサイクル PET 樹脂】

以上